

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社 日立製作所		住所 〒 100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号	
本票作成	部署名 : デジタルシステム&サービス統括本部 経営戦略統括本部 環境戦略本部			
主たる業種	分類コード	29	業種名 : 電気機械器具製造業	
事業の概要	事業概要 ; 岡山地区の情報処理サービス業及び営業活動 在籍人数 : 374人			
県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地	
	①	日立システムプラザ岡山	---	
	②	金融システム事業部	岡山市北区柳町1-1-1	
	③	中国支社 岡山支店	岡山市北区下石井1-1-3	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数) 3 所      ●車両台数 (②該当の場合) 台			
温室効果ガス排出量	基準年度(令和5年度) 12,935 t CO <sub>2</sub>	(令和6)年度排出量 11,490 t CO <sub>2</sub>	目標年度(令和6年度) 12,800 t CO <sub>2</sub>	
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和6)年度排出量	
	①	日立システムプラザ岡山	11,360 t CO <sub>2</sub>	
	②	金融システム事業部	117 t CO <sub>2</sub>	
	③	中国支社 岡山支店	13 t CO <sub>2</sub>	
			t CO <sub>2</sub>	
			t CO <sub>2</sub>	
			t CO <sub>2</sub>	
削減目標の達成状況	計画期間 : 令和6年度 ~ 令和6年度 (1箇年度) <input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準 (6)年度削減実績      目標削減率      目標達成 <input type="checkbox"/> 原単位基準 11.2 %      1.0 % <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達			
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(6)年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )
(該当事業者のみ記入)				
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和6年度)	達成率等
	データセンター業	1.400 以下	1.68	83.3%

【削減状況の自己評価】

- 1) 温室効果ガスの削減状況 (①日立システムプラザ岡山)  
 省エネルギー型空調設備への更新を継続実施、空調設備の設定温度見直し、室内エアフローの改善、IT機器で使用する電力量の減少により、CO<sub>2</sub>排出量を昨年度比で約1430t-CO<sub>2</sub>削減。
- 2) ベンチマーク未達理由 (①日立システムプラザ岡山)  
 現行の空調設備の性能によるため。  
 今後も設備更新、省エネ活動、再エネ導入を推進し、エネルギー効率の向上に取組む。

【推進体制】

①日立システムプラザ岡山

- ・ISO14001認証取得の一部門として環境マネジメントの運用体制を維持し、推進責任者をトップとしてエネルギー削減の改善活動を実施
  - ・省エネ法のエネルギー管理体制に基づく活動
- ②金融システム事業部、③中国支社岡山支店
- ・省エネ法のエネルギー管理体制に基づく活動

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
①日立システムプラザ岡山 ②金融システム事業部 ③中国支社 岡山支店	<p>(令和6年度実施分)</p> <p>①日立システムプラザ岡山 ・太陽光オンサイトPPAによる再エネ電力の購入 ・LED照明設備の導入 32W→26W</p> <p>②金融システム事業部、③中国支社岡山支店 ・働き方改革による残業削減、クールビス・ウォームビズ運動の実施</p> <p>(今後実施予定分)</p> <p>①日立システムプラザ岡山 ・省エネルギー型空調設備への更新 ・LED照明設備の導入 32W→26W</p> <p>②金融システム事業部、③中国支社岡山支店 ・環境教育の全員受講による省エネ・省資源意識向上とスキル維持 ・働き方改革による残業削減、クールビス・ウォームビズ運動の実施 ・ビルオーナー/管理会社の省エネ施策に協力</p>

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	有	日立システムプラザ岡山の保有地（岡山リサーチパーク）内に森林（広葉樹林）を保有し、保全・維持を実施。
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	日立システムプラザ岡山において、太陽光オンサイトPPAによる再エネ電力の購入。
その他	有	日立グループでは、2030年のカーボンニュートラル達成に向け、再生可能エネルギーや再エネ証書などの導入を推進中。

【その他特記事項】

①日立システムプラザ岡山(R6排出量11,360t-CO<sub>2</sub>)は、2025年4月1日付けで(株)日立システムズに事業移管されました。これにより、(株)日立製作所の岡山県下での事業所は②金融システム事業部並びに、③中国支社岡山支店のみとなり、R7排出量見通しは130t-CO<sub>2</sub>程度となります。

このため、今回の報告書提出をもって(株)日立製作所としての本条例への対応は最後となります。来年度以降、(株)日立システムズより改めて計画書や報告書の提出を予定しております。